

日本鐵鋼協會記事

理事會 本月は例に依り開會せず

編輯委員會 昭和6年8月5日(水)午後5時開會

出席者 池田正二君、石原善雄君、田中清治君、室井

嘉治馬君、三島徳七君、鹽澤正一君、廣瀬政次君、**協議**

事項 1. 鐵と鋼第17年第9號上掲原稿選定、2. 鑄物

研究部會議事錄(第8號)編輯に關する件、3. 第7回

講演大會準備に關する件

選定論文

1. 高揮發分北海道内石炭に依る製銅に就て

川口正名

2. 富士式平爐に就て

富山英太郎

3. 骸炭製造の際に於ける副產物に就て

高山正寛

4. 海水に對して耐蝕性なる新合金クルミ

ンと既知輕合金との比較 飯高一郎

5. 保護關稅の効果の一例 足立泰雄

役員渡外 本會理事工學博士渡邊三郎君が米國工業視察の爲め去る8月15日出帆せられたり而して本年中に歸朝の御豫定と承る

第7回講演大會講演者募集狀況 本會役員會にて本秋10月の頃北九州八幡市に於て大會舉行を決定し去る4月中より準備に着手し先づ講演者募集せしに其結果豫想以上にして期限8月10日前既に有益なる研究發表41題の大多數に上り大盛況裡に期日を以て募集斷然締切とする事を得たるは本會の最も光榮とする處にして講演者を始め其の研究の發表を許可せられたる各所の御厚志に對し深く感謝すると同時に遺憾ながら會場を2部に分ち又講演時間を制限せりを茲に陳謝す

會費領收報告

金四圓五錢也

(自昭和六年七月至昭和六年十二月)

伊勢 喜之助	井上 敏之助	石田 四郎	今 福 嘉作	一本木 清三	伊藤 正夫
井 村 竹 市	石 原 善 平	池貝鐵工所發動機部	池 永 雅	池 上 重	市 川 茂 三 郎
石 川 重 龍	石 澤 命	利 吉	井 作 雅	井 榮 德	井 弘 三
池 上 達 夫	井 上 命	吉 隆	井 定 順	井 康 郎	井 門 文
池 上 田	井 上 勇	吉 平	井 三 郎	井 孝 千	井 尾 廣
石 井 正 龍	居 岩 又	助 美	井 一 茂	井 一 茂	井 邦 雄
石 井 政 克	井 興	助 助	井 三 郎	井 正 三	井 常 新
石 井 登 喜	井 臨	助 美	井 成 章	井 口 雄	井 太 郎
石 井 治 雄	井 庄	助 美	井 伊 駒	井 清 八	井 長 谷 正
石 井 善 忍	井 義	助 美	井 石 嘉	井 重 廉	井 伸 夫
石 井 濱 田	井 坂	助 美	伊 丹 重	伊 丹 錦	伊 丹 錦
林 橋 秦	井 清	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
西 村 津	林 猶	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
西 村 西	源 次	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
西 村 西	電 駒	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
西 村 西	秀 雄	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
本 多 光	堺 間 利	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
東 馬 三	東京鋼材株式會社	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
戶 煙 燧 物	若 松 工 場	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
藤 堂 宗	東京鋼鐵製作所	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
小 河 原 藤	大 森 治 一	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
大 倉 商 事	大阪支店	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
尾 形 次	正 吉	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
小 田 切 延	松 太	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
岡 敬 藏	西 田	助 美	伊 丹 錦	伊 丹 錦	伊 丹 錦
		谷	谷	谷	谷
		英	英	英	英
		富	富	富	富
		源	源	源	源
		業	業	業	業
		組	組	組	組
		合	合	合	合
		同	同	同	同